

【資料1】

松江市教育大綱（令和4年度～令和11年度）

■基本理念■

DREAMS from MATSUE（ドリームズフロムまつえ）

～ふるさと松江から、夢を実現し未来を切り拓く～

《基本方針Ⅰ》 生きる力を持ったこどもたちの育成

1. 夢や希望、豊かな心を育む教育の推進
2. 確かな学力の育成
3. ICTを活用した教育の推進
4. 自分と他者を大切にする心の育成
5. 健やかな体づくり
6. 国際感覚を持ち社会を担っていく人材の育成

《基本方針Ⅱ》 一人一人の育ちと学びを支える体制づくり

1. 特別な支援が必要なこどもに対する支援体制の充実
2. こどもたちの学びの保障の充実
3. 困難を抱える青少年への支援

《基本方針Ⅲ》 こどもたちの教育環境の充実

1. 学校・家庭・地域が連携・協働した教育環境づくり
2. 安全・安心で良好な学校づくり
3. デジタル技術を活用した教育環境の整備
4. 学校における働き方改革の推進

《基本方針Ⅳ》 生涯にわたり心豊かに学び合う環境づくり

1. 生涯学習を推進する環境づくり
2. 公民館を拠点とした地域を担うひとづくりの推進
3. 総合文化センターを拠点とした文化振興と読書活動の推進

松江市社会教育関係事業について

令和7年度社会教育関係事業実績報告 令和8年度社会教育関係事業計画

I. 生きる力を持ったこどもたちの育成

1. 夢や希望、豊かな心を育む教育の推進

2. 確かな学力の育成

3. ICTを活用した教育の推進

4. 自分と他者を大切にする心の育成

5. 健やかな体づくり

6. 国際感覚を持ち社会を担っていく人材の育成

○ふるさと教育推進事業費
○理科好き育成事業

II. 一人一人の育ちと学びを支える体制づくり

1. 特別な支援が必要なこどもに対する支援体制の充実

2. こどもたちの学びの保障の充実

3. 困難を抱える青少年への支援

○障がい児支援健全育成事業費

○青少年支援センター運営費
○青少年支援センター指導員設置費
○青少年自立支援事業費

III. こどもたちの教育環境の充実

1. 学校・家庭・地域が連携・協働した教育環境づくり

2. 安全・安心で良好な学校づくり

3. デジタル技術を活用した教育環境の整備

4. 学校における働き方改革の推進

○小中一貫教育推進事業費
○地域学校協働活動推進事業
○コミュニティ・スクール推進事業
○放課後こども教室推進事業 ○児童クラブ運営委託費
○児童クラブ維持管理費 ○児童クラブ施設整備事業費
○児童クラブ巡回指導員配置事業費
○児童クラブ運営補助金
○児童クラブ時間延長支援事業費補助金
○こども会振興事業費 ○家庭教育支援基盤形成事業
○青少年健全育成活動委託費
○地域とすすめる「松江てらこや」事業費

IV. 生涯にわたり心豊かに学び合う環境づくり

1. 生涯学習を推進する環境づくり

2. 公民館を拠点とした地域を担うひとづくりの推進

3. 総合文化センターを拠点とした文化振興と読書活動の推進

○社会教育指導費 ○社会教育団体育成事業費
○はたちの集い開催事業費

○公民館管理運営費
○公民館施設改修事業費
○竹矢公民館整備事業費

○総合文化センター運営費 ○総合文化センター整備費
○中央図書館運営費 ○島根図書館運営費 ○東出雲図書館運営費
○移動図書館運営費

I. 生きる力を持ったこどもたちの育成

1. 夢や希望、豊かな心を育む教育の推進

事業名	ふるさと教育推進事業費
事業予算（千円）	4,030 千円
事業概要	・ふるさとへの愛着と誇りを持ち、美しいものや神秘的なものに感動する心豊かでたくましいこどもを育むため、地域の自然・歴史・文化・産業などの教育資源について、地域の大人から話を聞いて学んだり、地域へ出かけて実際に体験したりするなど、地域の「ひと・もの・こと」を活用したふるさと教育・キャリア教育を市内全公立小・中・義務教育学校で年間 20 時間以上実施する。（県の「ふるさと教育運用見直し」により 35 時間→20 時間に変更） ・小中 9 年間を見通した系統的なふるさと教育・キャリア教育と、学園のふるさと教育・キャリア教育を支援する地域の推進体制づくりを重点に取り組む。
R7 実績	・学校・家庭・地域をむすぶこども事業ネットワーク会議への活動事業委託 ・ふるさと「松江」を素材とした「特色ある総合的な学習の時間」の支援 ・地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員（地域学校コーディネーター）の配置 ・ふるさと教育研修会（県教育委員会主催）令和 7 年 7 月 29 日（火）出雲合庁 対象：ふるさと教育担当教員 内容：講義、事例紹介、演習・協議 ・各学園における学園教育推進会議でのふるさと教育及びキャリア教育の研修・授業公開と意見交換会等の開催 ・ふるさと教育・キャリア教育の講師として多数の地域ボランティアの参画
成果・課題	・地域学校協働本部や学園教育推進会議、さらに学校運営協議会が、全ての学園・学校に設置・整備され、ふるさと教育・キャリア教育を推進する体制が整っている。 ・「松江城授業プロジェクト」は、全ての学校で実施できた。 ・ふるさと教育に係る事務や渉外について、地域学校コーディネーターを活用したり、校内の役割分担を再確認したりすることで、授業者の負担を軽減する一助になった。
R8 計画	・学校・家庭・地域をむすぶこども事業ネットワーク会議への活動事業委託料 4,030 千円（内 事務局費 60 千円 小中学校 70 千円*51 校 中学校区交付金 25 千円*16 校） ・市内全公立小・中・義務教育学校 51 校で事業実施する。（義務教育学校及び分校は、小・中でそれぞれ学校数としてカウント） ・全小・義務教育学校 6 年生を対象とした「松江城授業プロジェクト」、他課と連携した「しじみ漁体験」（小 3 対象）、「MATSUE WAKU-WORK」（中 2 対象）を実施する。 ・ふるさと教育研修会（県教育委員会主催）令和 8 年 8 月 7 日（金）松江合庁 対象：ふるさと教育担当教員 内容：講義、事例紹介、演習・協議 * 事例発表：松江市立鹿島東小学校（予定）

事業名	理科好き育成事業																				
事業予算（千円）	596 千円																				
事業概要	こどもたちの創造性・知的好奇心・探求心を育成するとともに、親子での共同体験の場を提供することで家庭の教育力向上を目指す。また、幅広い年代へ自然科学に関する生涯学習の場を提供する。																				
R7 実績	<table><tr><th rowspan="2">事業名</th><th rowspan="2">開催場所(開催日)</th><th colspan="2">参加状況</th></tr><tr><th>こども (人)</th><th>大人 (人)</th></tr><tr><td>宇宙の学校</td><td>島根大学松江キャンパスにて開催 (7 月 27 日、11 月 30 日、12 月 14 日、12 月 21 日)</td><td>100</td><td>96</td></tr><tr><td>ペットボトル ロケット打上大会</td><td>松江市総合運動公園陸上競技場 (8 月 16 日)</td><td>55</td><td>51</td></tr><tr><td>天文教室</td><td>市役所第 4 別館屋上ほか (毎月 1 回定例開催)</td><td colspan="2">552</td></tr></table>			事業名	開催場所(開催日)	参加状況		こども (人)	大人 (人)	宇宙の学校	島根大学松江キャンパスにて開催 (7 月 27 日、11 月 30 日、12 月 14 日、12 月 21 日)	100	96	ペットボトル ロケット打上大会	松江市総合運動公園陸上競技場 (8 月 16 日)	55	51	天文教室	市役所第 4 別館屋上ほか (毎月 1 回定例開催)	552	
事業名	開催場所(開催日)	参加状況																			
		こども (人)	大人 (人)																		
宇宙の学校	島根大学松江キャンパスにて開催 (7 月 27 日、11 月 30 日、12 月 14 日、12 月 21 日)	100	96																		
ペットボトル ロケット打上大会	松江市総合運動公園陸上競技場 (8 月 16 日)	55	51																		
天文教室	市役所第 4 別館屋上ほか (毎月 1 回定例開催)	552																			
成果・課題	・ペットボトルロケット打上大会は、中学生が参加できる自作ロケットの部を設けた。 ・宇宙の学校は、1 回目を夏季に実施した。 ・天文教室は通常第 4 別館屋上で行い、8 月は大塚山公園（八束町）、10 月は JR 松江駅前にて行った。1 月以降は地震の影響や新庁舎移転等により中止した。																				
R8 計画	・宇宙の学校 ・ペットボトルロケット打上大会 ・天文教室																				

Ⅱ. 一人一人の育ちと学びを支える体制づくり

1. 特別な支援が必要な子どもに対する支援体制の充実

事業名	障がい児支援健全育成事業費
事業予算（千円）	2,125 千円
事業概要	特別支援学級在籍で、児童クラブに入会していない児童のうち希望者を夏休み期間中に預かり、児童の健全育成支援と保護者の育児負担軽減を図る
R7 実績	・実施小学校 2 校 実施日数 母衣 23 日 中央 24 日 参加児童 16 人
成果・課題	・前年度からのリピート利用は多数であり、保護者アンケートから見受けられるよう学年や学校を超えた交流等、本事業ならではの活動に対する利用者の満足度は高かった。一方でスタッフの監視体制や人員配置など苦慮する面もあった。
R8 計画	実施小学校 2 校 実施予定日数 母衣 21 日、中央 22 日 参加予定児童 20 人

3. 困難を抱える青少年への支援

事業名	青少年支援センター運営費、青少年支援センター指導員設置費
事業予算（千円）	21,545 千円
事業概要	不登校、ひきこもり、ニート、発達障がい、非行など様々な困難を抱えるこども・若者や保護者の相談を受け、必要に応じて専門機関と連携しながら助言や指導を行うとともに、相談者の要望を踏まえた継続的な支援を実施するため、青少年支援センターを運営する。
R7 実績	相談・支援件数 3,809 件 相談者実数 145 人[新規 81 人 前年度からの継続 64 人]
成果・課題	・指導員が相談者一人一人に寄り添う伴走型の支援を行い、通所者が自己肯定感を育む居場所として対応した。通所者のうち、学習支援を 8 人、就労支援を 4 人に対してそれぞれ実施した。 ・相談者の困難特性が複雑化しており、対応できる指導員のスキル向上を図っていく必要がある。
R8 計画	相談者の要望等を踏まえながら関係機関との連絡・協議の機会を増やすなど、ネットワークを強化し、切れ目ない支援体制を構築する。

事業名	青少年自立支援事業費
事業予算（千円）	5,727 千円
事業概要	困難を抱えるこども・若者の「居場所」づくりとして「音楽スタジオ」及び「ものづくりスタジオ」を設置。主催講座（音楽・ものづくり）の開催やスタジオの貸し出しを行い、こども・若者に居場所及び体験活動等の機会を提供する。
R7 実績	主催講座参加者数 延べ 206 人 （音楽講座 79 人、ものづくり講座 127 人） スタジオ貸し出し利用者数 延べ 520 人
成果・課題	・主催講座は、困難を抱えるこども・若者の居場所として参加しやすい環境づくりを工夫し、受講者が楽しく安心して参加している様子が伺えた。 ・スタジオの貸し出しは、HP・SNS・チラシ配布での周知により、より多くの方に居場所や文化創造の場として利用していただくことができた。
R8 計画	・スタジオの運営については、運営委員会への委託から、直営に移行するが、引き続き地域の人材や団体との連携、関係者の理解・協力を得ながら創意工夫し、こども・若者の居場所、活動の更なる場となるよう取り組んでいく。

Ⅲ. こどもたちの教育環境の充実

1. 学校・家庭・地域が連携・協働した教育環境づくり

事業名	小中一貫教育推進事業費
事業予算（千円）	13,727 千円
事業概要	・ 学園（中学校区）ごとに幼児期から小中 9 年間を見通した「たての一貫教育」と学校・家庭・地域が協働してこどもを育てる「よこの一貫（環）教育」を基軸として、各学園における特色ある「学園教育」の取組を推進し、様々な教育課題の解決とこどもたちの健やかな成長を図る。
R7 実績	・ 各学園において合同職員会議、合同研修会等が開催され、小中教職員の共同指導体制の構築が進んだ。また、各学園の実態に応じた小中交流等の取組は定着し、さらには保幼小接続に対する意識が高まり積極的な取組が見られた。 ・ 幼小接続管理職研修会の開催 令和 7 年 6 月 4 日（水）市町村振興センター 対象：各小学校管理職及び幼稚園・保育所・認定こども園長等 内容：講義・演習（講師：市教委 川上先生）・松江市の幼小接続に関わる現状報告・小学校区情報交換 ・ 幼小接続担当者研修会の開催 令和 7 年 7 月 28 日（月）市町村振興センター 対象：各小学校低学年担当者及び幼稚園・保育所・認定こども園担当者等 内容：講義・演習（講師：市教委 川上先生、揖屋小池田校長先生）・小学校区情報交換 ・ かけはし訪問の実施 令和 7 年 9 月より、各小学校・幼児教育施設を担当者が訪問し、現状を把握し、こどもたちにとってよりよい幼小接続のあり方を探っている。小学校 15 校、幼児教育施設 5 施設訪問した。 ・ 小中一貫に係る教職員アンケート調査及び義務教育学校におけるアンケート調査を実施した。（2-3 月） ・ 幼児教育・学校教育の質を向上させ、安心して充実した架け橋期を過ごすための指標として、3 月に「松江市こどもまんなか幼小架け橋プログラムの手引き」を作成した。
成果・課題	・ 各学園で工夫した活動が行われた。教職員のふるさと教育研修や学校支援ボランティアとの交流を実施した学園もある。 ・ 小中一貫に係る教職員アンケート調査について、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動、ふるさと教育等について、内容の見直しを行った ・ 幼小接続に関する意識が高まり、各校区で少しずつ積極的な取組が見られるようになった。

R8 計画	・各学園における推進部会、全体会・合同研修会、部会等の定期開催 ・各学園における小中交流（中学校体験入学）や小小交流活動、異学年交流活動の取組、保幼小連携の取組等の実施 ・各学園における小中9年間を一貫したふるさと教育、キャリア教育の推進 ・各学園における学園合同授業研究会の開催 ・昨年度作成した「松江市こどもまんなか幼小架け橋プログラムの手引き」を利用して、現場の実践を伴走支援する。 ・幼小連携・接続研修会の開催 管理職研修 令和8年6月3日（水）市民活動センター 対象：各小学校管理職及び幼稚園・保育所・認定こども園 園長 内容：講義・演習、情報交換（講師：川上先生、池田先生） 幼小接続担当者研修 令和8年7月28日（火）市民活動センター 対象：各小学校担当者及び幼稚園・保育所・認定こども園担当者等 内容：講義・演習、情報交換（講師：川上先生） ・かけはし訪問の実施 市内の小学校・幼児教育施設を担当者が訪問し、現状を把握し、こどもたちにとってよりよい幼小接続のあり方を探っている。津田小を指定校として、津田小と校区の幼児教育施設に継続的に訪問する。 ・小中一貫に係る教職員アンケート調査及び義務教育学校におけるアンケート調査の実施 2～3月
-------	--

事業名	地域学校協働活動推進事業
事業予算（千円）	17,507 千円
事業概要	・各学園（中学校区）に設置している「地域学校協働本部」に、「地域学校協働活動推進員（地域学校コーディネーター）」を配置し、各学園・各校において学校支援をはじめとする地域学校協働活動を推進する。 ・令和2年度より始めた「コミュニティ・スクール推進事業」と一体的に事業を進めることで、学校・家庭・地域が協働してこどもたちの豊かな成長を育む「よこの一貫（環）教育」のさらなる推進を図る。
R7 実績	・国の補助事業を活用し、各学園に学園規模に応じて1～3名の「地域学校コーディネーター」を配置（計29名）し、学校教育に地域・保護者の参画を促し、双方向の連携・協働を目指す地域学校協働本部の取組を推進した。 ・学校支援ボランティアの延べ人数は、令和2年度は大幅に減少したが、R3年度以降は、コロナ禍前の水準に戻ってきている。 H22：7,075人 → … → H26：23,493人 → H28：27,183人 → H29：26,333人 → H30：30,070人 → R1：31,344人 → R2：20,082人 → R3：31,166人 → R4：30,550人 → R5：23,224人 → R6：23,354人 → R7：23,579人 ・地域学校協働本部連絡協議会の開催 令和7年6月24日（火） （学校運営協議会研修会と合同開催）島根県市町村振興センター 対象：各学校運営協議会会長、各学園教育推進会議会長 各学校代表、各学園地域学校コーディネーター 内容：事例紹介（古江小学校）・講演・学園ごとの協議 講師：島根大学大学院教育学研究科 講師 大野 公寛 氏

成果・課題	・地域学校協働本部と学校運営協議会や学園教育推進会議との更なる連携、学校の働き方改革を踏まえた活動の充実が必要。 ・国からの補助金次第で、地域学校コーディネーターの年間活動時間が毎年変動することが課題。
R8 計画	・学校・家庭・地域が協働した地域ぐるみの教育「よこの一貫（環）教育」の推進・充実 ・全ての学園（16 中学校区）に「地域学校コーディネーター」を学校規模に応じて配置（合計 29 名）し、全ての小中義務教育学校で保護者や地域住民の学校教育への積極的な参画を促し、地域とともにある学校づくりを進める。 ・地域学校コーディネーターを対象とした連絡会、研修会等を計画的に進め、コーディネーターとしての素質の向上を図る。 ・地域学校協働本部連絡協議会の開催 令和 8 年 7 月 1 日（水） （コミュニティ・スクール連絡協議会と合同開催）島根県市町村振興センター 対象：各学校運営協議会会長、各学園教育推進会議会長 各学校代表、各学園地域学校コーディネーター 内容：事例紹介（鹿島中学校）・講演・学園ごとの協議 講師：文部科学省 CS マイスター 西 祐樹 氏

事業名	コミュニティ・スクール推進事業
事業予算（千円）	2,293 千円
事業概要	・市立各小中義務教育学校に、学校運営及び学校運営への必要な支援に関して協議する機関として「学校運営協議会」を設置し、地域とともにある学校づくりの推進を図る。
R7 実績	・「松江市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」に従い、令和 2 年度から、モデル校・学園として導入開始、令和 4 年度で、市内全ての小・中・義務教育学校、皆美が丘女子高に導入を完了し、「地域とともにある学校づくり」を推進した。 ・協議会の現状把握とより一層の充実を図るために学校運営協議会委員を対象としたアンケート項目の見直しを行った。 ・学校運営協議会研修会の開催 令和 7 年 6 月 24 日（火） （地域学校協働本部連絡協議会と合同開催）島根県市町村振興センター 対象：各学校運営協議会会長、各学園教育推進会議会長 各学校代表、各学園地域学校コーディネーター 内容：事例紹介（古江小学校）・講演・学園ごとの協議 講師：島根大学大学院教育学研究科[教職大学院] 講師 大野 公寛 氏
成果・課題	・学校運営協議会と学園教育推進会議を効果的に運用できるような体制づくりを目指し、研修会を地域学校協働本部連絡協議会と合同開催。学校運営協議会や推進会議における地域学校コーディネーターの役割、活用について認識を深め「地域とともにある学校づくり」についての意識が高まった。 ・研修等を通じて、地域学校協働本部との連携、学園間の好事例の情報交換等を進め、学園の特色を生かした学校運営協議会制度の充実を図る。

R8 計画	・各校の地域・保護者代表等で構成される「学校運営協議会」を年3回程度開催し学校運営等に関する幅広い協議を行う。 ・コミュニティ・スクール連絡協議会の開催 令和8年7月1日(水) (地域学校協働本部連絡協議会と合同開催) 島根県市町村振興センター 対象：各学校運営協議会会長、各学園教育推進会議会長 各学校代表、各学園地域学校コーディネーター 内容：事例紹介(鹿島中学校)・講演・学園ごとの協議 講師：文部科学省 CS マイスター 西 祐樹 氏
-------	--

事業名	放課後こども教室推進事業
事業予算(千円)	45,461千円
事業概要	地域社会の中で、放課後に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、地域の協力を得ながら、文化活動や地域住民との交流活動などの取組を実施する。
R7 実績	・放課後こども教室実施数 32箇所(31校区) 放課後こども教室と児童クラブの一体型実施 21校区 ・スタッフの要望に沿った研修を10回開催 延べ受講者数 531名 ・情報誌「Tweet」を4回発行
成果・課題	継続運営、内容の充実に向け、スタッフ等への研修の充実や情報交換の場を設ける。また、児童クラブや地域、小学校との横のつながり強化に向け、引き続き支援を行っていく。
R8 計画	こども教室の充実に向け、地域や児童クラブとの連携強化を図る。スタッフ育成を図るため、各種研修会の実施、通信の発行を行う。

事業名	児童クラブ運営委託費
事業予算(千円)	492,079千円
事業概要	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に、適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成を図ることを目的として実施している公設の児童クラブを管理運営する。
R7 実績	公設児童クラブ(41施設58室)への指定管理料 入会児童数 1,646人 ※公設・民間児童クラブ入会児童数(1～3年生) 2,809人 公設・民間児童クラブ入会率 (1～3年生) 58.9% (R7.5.1現在)
成果・課題	・待機児童の状況には地域ごとに差異がみられ、受け皿の偏在が課題となっている。 ・利用ニーズの多様化に対応するため、指導員の確保・育成の強化に加え、需要の変化に応じた運営体制の見直しを進めることが求められる。
R8 計画	公設児童クラブ(42施設57室)への指定管理料 入会児童数 1,703人 ※公設・民間児童クラブ入会児童数(1～3年生) 2,837人 公設・民間児童クラブ入会率 (1～3年生) 62.2% (R8.5.1現在)

事業名	児童クラブ維持管理費
事業予算（千円）	23,380 千円
事業概要	公設児童クラブの維持管理。
R7 実績	・土地建物借上料 ・機械警備業務委託 ・児童・指導員傷害賠償保険料 ・児童クラブ機械警備委託 ・児童クラブAEDリース料 ・修繕工事ほか
成果・課題	引き続き、適正な維持管理に努める。
R8 計画	・土地建物借上料 ・機械警備業務委託 ・児童・指導員傷害賠償保険料 ・児童クラブ機械警備委託 ・児童クラブAEDリース料 ・修繕工事ほか

事業名	児童クラブ施設整備事業費
事業予算（千円）	6,857 千円
事業概要	児童クラブの施設・設備等の整備を行う。施設・設備の耐用年数を踏まえ、優先度の高いものから実施する。
R7 実績	・美保関児童クラブ空調更新工事 ・川津児童クラブ空調更新工事 ・秋鹿児童クラブ空調更新工事 ・大庭地区第2児童クラブ空調修繕 ・持田児童クラブ空調修繕
成果・課題	施設の老朽化が進行しているため、引き続き施設整備を行う。
R8 計画	・しまね潮風児童クラブ空調設備更新設計委託・工事

事業名	児童クラブ巡回指導員配置事業費
事業予算（千円）	3,745 千円
事業概要	児童クラブの質の向上と運営上の困り感の解消や児童への対応について専門的なアドバイスができる指導員を配置し、児童クラブを巡回し、助言や相談を受ける。
R7 実績	1 名配置（有資格者：教員）
成果・課題	こどもが、安全で安心して過ごすことができ、質の高い支援を確保できるよう継続して支援を行っていく体制を整える。
R8 計画	1 名配置（有資格者：教員）

事業名	児童クラブ運営補助金
事業予算（千円）	489,828 千円
事業概要	放課後児童健全育成事業を実施する社会福祉法人等の団体に対し補助金を交付し、公設児童クラブで実施する放課後児童健全育成事業の補完及び児童の健全育成を図る。
R7 実績	・補助実績 44 施設 ・社会福祉法人 27 施設 ・有限会社 4 施設 ・株式会社 12 施設 ・学校法人 1 施設
成果・課題	利用者ニーズに応じた選択肢を増やすため、民設民営児童クラブへの運営支援を継続して行う。また、補助対象事業の拡充により、民間児童クラブの新規開設をしやすい環境を整える。
R8 計画	補助予定 46 施設 ・社会福祉法人 27 施設 ・有限会社 4 施設 ・株式会社 13 施設 ・学校法人 1 施設 ・一般社団法人 1 施設

事業名	児童クラブ時間延長支援事業費補助金
事業予算（千円）	7,300 千円
事業概要	開設時間の延長を実施する公設児童クラブに補助金を交付し、保護者の就労支援を行う。
R7 実績	補助金申請件数 22 件
成果・課題	校区での実情に応じた時間延長支援が実施できるよう、引き続き補助を行う。
R8 計画	補助金を交付することにより開設時間延長の取り組みを支援し、保護者のニーズに対応できる環境整備を図る。

事業名	こども会振興事業費
事業予算（千円）	808 千円
事業概要	次世代を担うこどもたちを、心身ともに明るく健やかに育成することを目的とし、こども会組織の強化・充実、ジュニアリーダー、指導者の資質向上を図る。
R7 実績	こども会振興事業業務委託 委託先：松江市子ども会育成協議会連合会 808 千円
成果・課題	年度当初計画をしていた事業をすべて実施することができた。その中でも、市子連 50 周年記念事業の一つとして、「集まれ !! にこにこ “こどもフェスタ”」を開催した。工作や体験等を通して、たくさんの親子のふれあいの機会を創出できた。令和 8 年度も引き続き、子ども会の組織の強化やジュニア・リーダーの養成等を図る。
R8 計画	こども会振興事業業務委託 委託先：松江市子ども会育成協議会連合会 808 千円

事業名	家庭教育支援基盤形成事業
事業予算（千円）	124 千円
事業概要	子育て中の親や保護者等に対する家庭教育支援を目的とした「親楽プログラム」を活用し、親としての役割やこどもとの関わり方について気づきを促す機会を提供する。また、プログラムの進行役である親楽ファシリテーターの養成を図る。
R7 実績	開催数：23 回開催/年 ファシリテーター派遣者数：39 人 参加者数：641 人
成果・課題	親楽プログラムの実施回数及び受講人数が増加した。 SNS を活用し、広報活動を徹底する。
R8 計画	親楽プログラムを複数回開催しやすい環境を整え、小グループでの実施（クラスごと、学年ごと等）を図り、より効果的な家庭教育支援を行う。

事業名	青少年健全育成活動委託費
事業予算（千円）	3,000 千円
事業概要	青少年の健全育成推進のため、青少年の自立と社会参加を促進する事業を実施する。
R7 実績	青少年健全育成活動事業委託 委託先：松江市青少年育成連絡協議会 2,765 千円
成果・課題	こどもたちを取り巻く教育環境浄化を図るために、年間を通して黄色いポスト回収を実施した。こどもの健全育成研修会事業では、各地区での研修や実践発表会等を通して、青少年が健やかにたくましく成長できる社会環境づくりについて考え、取り組んだ。 令和8年度の事業については、研修会や青少年健全育成啓発活動等、内容を検討しながら、事業を実施する。
R8 計画	青少年健全育成活動事業委託 委託先：松江市青少年育成連絡協議会 3,000 千円

事業名	地域とすすめる「松江てらこや」事業費
事業予算（千円）	3,776 千円
事業概要	・放課後や休業日に公民館等の施設を活用し、地域住民や保護者、学生などの参画を得て、こどもたちに学習の機会を提供することにより、地域社会の中でこどもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。 ・こどもの学習習慣の確立、地域とこどもたちのつながりの強化 ・各地区公民館等の学習支援運営委員会が主体となって行う、地域人材を活用したこどもへの学習支援の取組に対して補助を行う。 【事業内容】 自学形式で行い、個別の質問に指導員（地域人材）が対応 【支援先】 各地区で組織された学習支援団体
R7 実績	・市内 16 公民館区において実施 （持田・本庄・朝日・玉湯・宍道・法吉・雑賀・鹿島・忌部・城北・八雲・島根・大庭・乃木・白潟・東出雲）
成果・課題	地域で学習の機会を提供する本取組により、地域でこどもを支える環境づくりへの一定の成果が得られた。実施公民館区に限られているため、未実施地区に対して公民館長会等で説明を行い、実施団体の拡充を図っていく。
R8 計画	・市内 17 公民館区において実施予定 （持田・本庄・朝日・玉湯・宍道・法吉・雑賀・鹿島・忌部・城北・八雲・島根・大庭・乃木・白潟・東出雲・美保関）

IV. 生涯にわたり心豊かに学び合う環境づくり

1. 生涯学習を推進する環境づくり

事業名	社会教育指導費
事業予算（千円）	5,801 千円
事業概要	・社会教育法に基づき社会教育委員を委嘱し、社会教育や生涯学習などについて助言を受け、社会教育施策の充実を図る。 ・県から派遣される社会教育主事を配置し、学校、家庭、地域が協働して子どもたちを育むための協働体制づくりを進める。
R7 実績	・社会教育委員（松江市社会教育委員の定数及び任期に関する条例）委員数 16 名（任期 2 年） ・派遣社会教育主事：生涯学習課 1 名 ・松江市社会教育委員協議会総会、年 1 回研修会
成果・課題	・社会教育委員は、総会において松江市の社会教育事業に関する課題等について意見・助言をいただくこととしている。令和 7 年度は総会、研修会を開催することができ、意見交換を行うことで、議論を深めることができた。
R8 計画	・社会教育委員（松江市社会教育委員の定数及び任期に関する条例）委員数 16 名（任期 2 年） ・派遣社会教育主事：生涯学習課 1 名

事業名	社会教育団体育成事業費														
事業予算（千円）	1,196 千円														
事業概要	社会教育の振興を目的とする各種団体の活動促進を図るため、「松江市社会教育関係事業補助金交付要綱」に基づき活動費の一部を助成する。														
R7 実績	<table><tr><th>補助対象</th><th>補助金交付目的</th><th>R7 交付額 (千円)</th></tr><tr><td>松江市 P T A 連 合 会</td><td>PTA 活動の充実と会員の資質向上</td><td>169</td></tr><tr><td>松 江 市 連 合 婦 人 会</td><td>婦人団体の育成と婦人の資質向上</td><td>967</td></tr><tr><td>ボーイスカウト 松 江 市 連 合 会</td><td>青少年の人格と健康づくり、知識技能の習得、奉仕の実践を促進</td><td>60</td></tr></table>			補助対象	補助金交付目的	R7 交付額 (千円)	松江市 P T A 連 合 会	PTA 活動の充実と会員の資質向上	169	松 江 市 連 合 婦 人 会	婦人団体の育成と婦人の資質向上	967	ボーイスカウト 松 江 市 連 合 会	青少年の人格と健康づくり、知識技能の習得、奉仕の実践を促進	60
補助対象	補助金交付目的	R7 交付額 (千円)													
松江市 P T A 連 合 会	PTA 活動の充実と会員の資質向上	169													
松 江 市 連 合 婦 人 会	婦人団体の育成と婦人の資質向上	967													
ボーイスカウト 松 江 市 連 合 会	青少年の人格と健康づくり、知識技能の習得、奉仕の実践を促進	60													
成果・課題	各団体の活動については、研究大会、研修大会、各種活動を実施できた。令和 8 年度の活動についても、研修大会等の実施、参加をしながら、各種事業、活動を推進していく。市としては、引き続き、各団体へ補助金を交付し、活動に対する支援を実施していく。														
R8 計画	<table><tr><th>補助対象</th><th>補助金交付目的</th><th>R8 交付額 (千円)</th></tr><tr><td>松江市 P T A 連 合 会</td><td>PTA 活動の充実と会員の資質向上</td><td>169</td></tr><tr><td>松 江 市 連 合 婦 人 会</td><td>婦人団体の育成と婦人の資質向上</td><td>967</td></tr><tr><td>ボーイスカウト 松 江 市 連 合 会</td><td>青少年の人格と健康づくり、知識技能の習得、奉仕の実践を促進</td><td>60</td></tr></table>			補助対象	補助金交付目的	R8 交付額 (千円)	松江市 P T A 連 合 会	PTA 活動の充実と会員の資質向上	169	松 江 市 連 合 婦 人 会	婦人団体の育成と婦人の資質向上	967	ボーイスカウト 松 江 市 連 合 会	青少年の人格と健康づくり、知識技能の習得、奉仕の実践を促進	60
補助対象	補助金交付目的	R8 交付額 (千円)													
松江市 P T A 連 合 会	PTA 活動の充実と会員の資質向上	169													
松 江 市 連 合 婦 人 会	婦人団体の育成と婦人の資質向上	967													
ボーイスカウト 松 江 市 連 合 会	青少年の人格と健康づくり、知識技能の習得、奉仕の実践を促進	60													

事業名	はたちの集い開催事業費
事業予算（千円）	3,734 千円
事業概要	令和４年４月に成年年齢が引下げされたことに伴い、令和５年１月より「成人式」を「はたちの集い」に名称変更して開催。若者が旧友との再会や地域との交流を通じて松江に住み暮らしたい、働きたい、まちづくりに関わりたいという気運を醸成する。〔一般公募で選出した委員で組織する実行委員会が企画・運営する。〕
R7 実績	令和８年松江市はたちの集い 〔開催日：令和８年１月１１日（日） 会場：くにびきメッセ〕 出席者 １,４８７人／対象者 １,８９７人 出席率 ７８.３９％
成果・課題	・実行委員が当日の式典を進行するとともに、出席者の一生の思い出となるよう企画（式典パンフレットの作成、松江に関するクイズ大会、著名人からのメッセージビデオの上映、地元アーティストによるアートボードの設置、恩師メッセージの掲示等）を考案し、実施した。 ・「松江市はたちの集い」は、２０歳となる若者が一堂に集まる貴重な場であり、地域からのお祝いの意味に加え、交流を通じて生まれ、育ち、住んだ松江の魅力を再認識することで定住促進や関係人口増を図る機会となるよう取り組んでいく。
R8 計画	【令和９年松江市はたちの集い】 ・令和９年１月１０日（日）開催予定 会場：くにびきメッセ ・対象者 平成１８年４月２日～平成１９年４月１日生まれの松江市在住または出身者

2. 公民館を拠点とした地域を担うひとづくりの推進

事業名	公民館管理運営費
事業予算（千円）	843,680 千円
事業概要	松江市の公民館は、学習の場としてだけでなく、地域福祉、青少年育成、環境リサイクル、地域防災などの幅広い分野における地域活動の拠点として大きな役割を担っており、人的ネットワークを広げながら新しいコミュニティを形成していく地域づくりの中核施設としての機能を果たしている。 現在 29 の公民館があり、「公設自主運営方式」を基本として運営を行っている。また、地域の枠を超え、多彩な地域資源や人材等の学習資源を有効に活用できる環境を整えるため、5 つに分けたブロック（松東、中央、松北、松南、湖南）単位での広域的な公民館事業にも取り組んでいる。
R7 実績	経費内訳 ・ 公民館長人件費 86,863 千円 ・ 公設自主運営方式の公民館に対する指定管理料 705,956 千円 ・ 公民館の維持管理に関する経費等 20,430 千円
成果・課題	地域特性やニーズに応じたきめ細かな公民館運営を実施することで、生涯学習、社会教育活動をはじめ、様々な地域活動拠点としての公民館の充実を図ることができた。
R8 計画	経費内訳 ・ 公民館長人件費 89,920 千円 ・ 公設自主運営方式の公民館に対する指定管理料 741,417 千円 ・ 公民館の維持管理に関するその他経費等 12,343 千円

事業名	公民館施設改修事業費
事業予算（千円）	92,174 千円
事業概要	老朽化した公民館の設備の改修工事をする。
R7 実績	・ 竹矢公民館（よらこい会館）空調設備更新工事 3,784 千円 ・ 城西公民館空調設備更新工事 22,635 千円 ・ 美保関公民館機械室外部扉更新工事 1,430 千円 ・ 津田公民館トップライト改修工事 1,150 千円 ・ 島根公民館受変電設備更新工事設計 968 千円 ・ 東出雲複合施設空調設備改修工事設計 583 千円 ・ 島根複合施設空調設備改修工事設計 792 千円
成果・課題	【成果】生涯学習の拠点施設及び指定避難所として、今後も継続して機能を維持することが可能となった。 【課題】改修事業により、既存施設の長期利用を図っているが、建築年数の古い公民館もあり、大規模改修や建替の検討も必要である。
R8 計画	・ 生馬公民館屋根改修工事設計 1,028 千円 ・ 東出雲複合施設空調設備更新工事 6,035 千円 ・ 東出雲複合施設空調設備更新工事付帯工事 1,155 千円 ・ 島根公民館空調設備更新工事 45,265 千円 ・ 島根公民館受変電設備更新工事 37,018 千円 ・ 法吉公民館受変電設備更新工事 1,673 千円

事業名	竹矢公民館整備事業費		
事業予算（千円）	299, 234 千円		
事業概要	・ 市内公民館で最も建築後の経過年数が長く、老朽化も進行している竹矢公民館を建て替えるもの。 ・ 建設場所は現地建て替えとし、形態は平屋建てを基本とする。 ・ 現地建て替えのため、現公民館解体から新公民館建設の間、休園中の竹矢幼稚園を改修し、仮設公民館として活用する。		
R7 実績	・ 竹矢幼稚園（仮設公民館）改修工事 ・ 仮設公民館移転作業 ・ 新公民館変更実施設計（R6～継続） ・ 現公民館解体設計（R6～継続） ・ 旧公民館解体準備工事 ・ 新公民館建設・旧公民館解体工事工損調査（事前） ・ 新公民館建設・旧公民館解体工事（継続～R8）		
成果・課題	令和４年度末に建設予定地から埋蔵文化財が出土したことにより、当初の計画（令和５年度に建設工事～竣工、令和６年度に新公民館開設）から大幅に遅れが生じている。 ・ R6 年度：発掘調査、新公民館実施設計、現公民館解体・仮設公民館改修設計 ・ R7 年度：仮設公民館改修工事、機能移転、旧公民館解体工事 ・ R8 年度：新公民館建設工事 ・ R9 年度：新公民館開設		
R8 計画	○R8 予算額 299, 234 千円 ・ 単年度費 14, 400 千円 消耗品購入 3, 611 千円 備品購入 9, 558 千円 発掘調査報告書作成 1, 092 千円 公民館看板作成 139 千円 ・ R7～R8 継続費 474, 723 千円 うち R8 年度 公民館建設工事（解体・建設） 284, 834 千円		

3. 総合文化センターを拠点とした文化振興と読書活動の推進

事業名	総合文化センター運営費
事業予算(千円)	178,754 千円
事業概要	・総合文化センターの管理運営費 ・ぷらっとプラバ魅力発見事業費(R7～)
R7 実績	【管理運営費】 ・施設指定管理料 R7 年度総合文化センター利用人数 86,044 人 ※図書館除く 【ぷらっとプラバ魅力発見事業費】 ・鑑賞事業(8 公演)に小学生親子無料招待(延べ 144 組 288 人) ・公演リハーサル無料公開(対象公演 1 公演、参加者 19 人) ・中学生公開レッスン(実施回数 5 回、参加者計 150 人) ・プラバ夏祭り、冬祭り(参加者延べ 2,292 人)
成果・課題	リニューアル後、2 年目として多くの鑑賞事業やイベントを行った。 平日の公演開催や夜間イベント(プラ Bar)、プラバの夏祭り等、これまでにない新規企画により幅広い層の集客を図った。公演によっては集客に伸び悩みが見られた。
R8 計画	総合文化センター管理運営費 176,904 千円 ぷらっとプラバ魅力発見事業費 1,850 千円

事業名	総合文化センター整備費
事業予算(千円)	9,496 千円
事業概要	総合文化センターの施設維持に伴う修繕・工事を行うもの
R7 実績	・南面雨水配管修繕工事 ・冷却塔 CT - 052 劣化部修繕工事 ・閉架書庫系統排気ダクト SFD 更新修繕 ・自動制御中央監視盤電源部交換修繕 ・東面汚水枡周辺舗装陥没修繕 ・駐輪場雨樋修繕
成果・課題	・大規模改修対象外の劣化が進んでいる設備等について更新を行い、利便性や安全性を高めた。
R8 計画	・安全性向上のための看板設置 82 千円 ・電気設備更新工事調査設計業務 2,046 千円 ・防火シャッター修繕工事 2,752 千円 ・西駐車場出入り口カーゲート他更新工事 2,905 千円 ・既設冷温水配管保温やり替え工事 1,211 千円 ・他小規模修繕 500 千円

事業名	中央図書館運営費
事業予算（千円）	31,149 千円
事業概要	松江市立中央図書館運営事業
R7 実績	R7 利用状況 *雑誌・視聴覚資料を含む。 ・開館日数 290 日 ・貸出利用者数 86,582 人（内訳 個人 83,364 人 団体 3,218 人） ・貸出冊数 399,021 冊 （内訳 一般書 197,426 冊 児童書 174,420 冊 その他 27,175 冊） 【参考：人口 1 人あたりの貸出冊数】 (R6) 松江市 2.78 冊 県内平均 4.46 冊 全国平均 4.94 冊 ※出典：「日本の図書館 統計と名簿 2024」 （貸出数：令和 6 年度実績 人口：令和 6 年 1 月 1 日現在）
成果・課題	・「よるの図書館」等のイベント開催 ・図書館報「ちどり」の発行 ・定期講座の開催 ・ストーリーテリング等の読書普及活動の実施 など ・バリアフリー化の推進及び中高生世代の読書冊数増加を目指し、電子図書館を導入（令和 8 年 8 月稼働予定）
R8 計画	図書館業務の一部を（公財）松江市スポーツ・文化振興財団へ委託 委託料 29,946 千円

事業名	島根図書館運営費
事業予算（千円）	3,458 千円
事業概要	松江市立島根図書館運営事業
R7 実績	R7 利用状況 *雑誌・視聴覚資料を含む。 ・開館日数 293 日 ・貸出利用者数 3,461 人（内訳 個人 3,338 人 団体 123 人） ・貸出冊数 16,834 冊 （内訳 一般書 5,619 冊 児童書 9,852 冊 その他 1,363 冊）
成果・課題	・各種イベントの開催 公民館との共催行事等、地域の文化拠点として親しまれる運営により、来館者の増加を図る。
R8 計画	図書館業務の一部を（公財）松江市スポーツ・文化振興財団へ委託。 委託料 1,872 千円

事業名	東出雲図書館運営費
事業予算（千円）	4,405 千円
事業概要	松江市立東出雲図書館運営事業
R7 実績	R7 利用状況 *雑誌・視聴覚資料を含む。 ・開館日数 294 日 ・貸出利用者数 13,203 人（内訳 個人 13,056 人 団体 147 人） ・貸出冊数 58,905 冊 （内訳 一般書 24,906 冊 児童書 31,989 冊 その他 2,010 冊）
成果・課題	・各種イベントの開催 学校図書館との連携、こどもの読書活動推進に重点を置きながら、地域に根差した運営を行う。
R8 計画	図書館業務の一部を（公財）松江市スポーツ・文化振興財団へ委託 委託料 1,758 千円

事業名	移動図書館運営費
事業予算（千円）	1,649 千円
事業概要	図書館から離れた地域へ移動図書館車（ブックモービル）で巡回し、図書の貸出等を行う。
R7 実績	R7 事業実施状況 *雑誌・視聴覚資料を含む。 ・巡回日数 237 日 ・貸出利用者数 2,687 人（内訳 個人利用 1,796 人 団体利用 891 人） ・貸出冊数 48,409 冊 （内訳 一般書 11,551 冊 児童書 36,539 冊 その他 319 冊）
成果・課題	図書館から遠い地域への良質な図書館サービスの提供 中央図書館を中心としたネットワークによる継続実施
R8 計画	・移動図書館車の更新（だんだん号→へるん号）に伴い 9 月からルート拡大予定。依頼による臨時巡回も増やし、利用推進を目指す。 ・対象地域：市立図書館・県立図書館よりおおむね 5 km 以上離れた地域 75 団体（67 ステーション） 貸出方法：個人貸出（1 人 10 冊以内）および団体貸出（50 冊以内） 運行数：1 日 5 箇所程度 週 5 回運行 移動図書館運営委託：（公財）松江市スポーツ・文化振興財団 委託料 1,649 千円

【資料2】

令和7年度松江市社会教育委員協議会研修報告

日 時 令和7年7月11日（金）

場 所 松江合同庁舎 602 会議室

主 催 島根県立東部・西部社会教育研修センター

内 容 講義 みんな集まれ！しまねの社会教育キックオフ講座

講師 松江教育事務所 社会教育スタッフ 山田 祐司 氏

実践発表者 安来市島田交流センター 主事 畑 早苗 氏

日 時 令和7年8月29日（金）14:00～16:30

場 所 松江市市民活動センター201・202 会議室

主 催 松江地区社会教育委員連絡協議会

内 容 講義 「活動する社会教育委員に向けて～社会教育委員の取り組みから～」

講師 雲南市社会教育委員会 会長 石飛 安弘 氏

日 時 令和7年10月29日（水）～31日（金）

場 所 アイーナ（いわて県民情報交流センター）

マリオス（盛岡市民文化ホール）

主 催 一般社団法人全国社会教育委員連合ほか

内 容 「第67回全国社会教育研究大会岩手大会」

日 時 令和7年11月20日（木）、21日（金）

場 所 〔全体会・分科会〕 山口県総合保健会館

〔分科会〕 セントコア山口

主 催 一般社団法人全国社会教育委員連合

中国四国地区社会教育委員連絡協議会ほか

内 容 「第47回中国・四国地区社会教育研究大会山口大会」

日 時 令和7年12月4日（木）

場 所 あすてらす（大田市）

主 催 島根県立東部・西部社会教育研修センター

内 容 講義 社会教育委員・担当者 共に学ぼう！研修

～未来を見据え、学びを動きにつなげる「社会教育委員」と「担当者」～

講師 大正大学地域創生学部 教授 牧野 篤 氏

日 時 令和8年3月6日（金）13:15～16:45

場 所 安来市役所 安来庁舎 201・202 会議室

主 催 松江地区社会教育委員連絡協議会

内 容 講義 子どもが貧困のスパイラルを抜け出すためには

みんなが実状を知り、支える世の中になるために

講師 特定非営利活動法人しまね子ども支援プロジェクト

副理事長 樋口 和広 氏

令和 8 年度松江市社会教育委員協議会研修計画（案）

日 時 令和 8 年 7 月 22 日（水）

場 所 安来中央交流センター

主 催 島根県立東部・西部社会教育研修センター

内 容 講義 みんな集まれ！しまねの社会教育キックオフ講座

日 時 令和 8 年 8 月 25 日（火）

場 所 市民活動センター 201、202 研修室

主 催 松江地区社会教育委員連絡協議会

内 容 「社会教育委員基礎研修」

日 時 令和 8 年 10 月 8 日（木）

場 所 サン・レイク

主 催 島根県立東部・西部社会教育研修センター

内 容 講義 社会教育委員・担当者 共に学ぼう！研修

講師 文教大学人間科学部 准教授 青山 鉄兵 氏

日 時 令和 8 年 10 月 28 日（水）～30 日（金）

場 所 〔全体会・分科会〕国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）

〔分科会〕新梅田研修センター（第 1 分科会～第 5 分科会）

大阪府立中之島図書館（第 6 分科会）

主 催 一般社団法人全国社会教育委員連合ほか

内 容 「第 68 回全国社会教育研究大会大阪大会」

（兼令和 8 年度近畿地区社会教育研究大会 兼令和 8 年度大阪府社会教育研究会議）

日 時 令和 8 年 11 月 19 日（木）、20 日（金）

場 所 レクザムホールほか（高松市）

主 催 一般社団法人全国社会教育委員連合

中国四国地区社会教育委員連絡協議会ほか

内 容 「第 48 回中国・四国地区社会教育研究大会香川大会」

日 時 令和 9 年 2 月頃

場 所 未定

主 催 松江地区社会教育委員連絡協議会

内 容 「社会教育委員地域課題研修」

※ 上記研修については、開催が近づきましたらご案内いたします。